

八千代市まち・ひと・しごと創生に関する 市民満足度調査

報 告 書

平成 31 年（2019 年） 3 月



目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 回収状況	3
4. 報告書を読む際の留意点	3
5. 標本誤差	4
6. 居住地域	5
第2章 調査結果の分析	7
1. 調査対象者の属性	9
2. 八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査結果	11
第3章 調査票	33

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

将来の人口減少対策として、今後市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を示す「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける各事業に関連して、市民の満足度を把握することを目的に実施する。

2. 調査の設計

調査対象	: 市内に在住の18歳以上の男女
調査標本	: 3,000名を抽出し、最終的に2,993人を調査標本とした。
抽出方法	: 住民基本台帳より実際の年齢、性別、地域の人口割合に近い値となるように抽出した
調査方法	: 郵送による配布・回収
調査期間	: 平成31年1月18日～2月5日

3. 回収状況

標本数	有効回収数	有効回収率
2,993	1,137	38.0%

4. 報告書を読む際の留意点

- 集計は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 基数となる実数は、「n」として表示しています。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中ではふれていない場合があります。
- 統計数値を考察するにあたっての表現は、おおむね以下のとおりです。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割

5. 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（八千代市の18歳以上人口）
 n = 比率算出の基数（回答者数）
 p = 回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は下記のようになる。

回答比率(P) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,137	±1.78%	±2.37%	±2.72%	±2.91%	±2.97%
1,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
800	±2.12%	±2.83%	±3.24%	±3.46%	±3.54%
600	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4.00%	±4.08%
400	±3.00%	±4.00%	±4.58%	±4.90%	±5.00%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注／この表の見方

標本誤差とは・・・今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査においては、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が1,137であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.91%以内（57.09～62.91%）である」とみることができる。

6. 居住地域

居住地域別のクロス集計は、『八千代市地域コミュニティ推進計画』を参考にし、次のように集約して分析の軸としている。

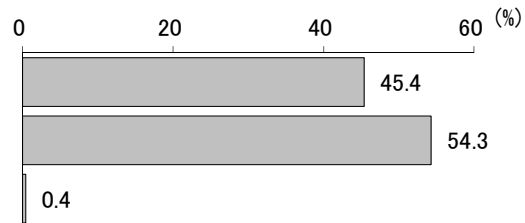
居住地区		集約後の居住地域
大和田地区	┌ ├───▶ └	大和田地域
ゆりのき台地区		
大和田新田(A)地区		
大和田新田(B)地区	┌ ├───▶ └	高津・緑が丘地域
高津・緑が丘地区		
高津団地地区		
八千代台東南地区	┌ ├───▶ └	八千代台地域
八千代台西北地区		
勝田台地区	┌───▶	勝田台地域
村上地区	┌ ├───▶ └	村上地域
村上団地地区		
阿蘇地区	┌ ├───▶ └	阿蘇地域
米本団地地区		
睦地区	┌───▶	睦地域

第2章 調査結果の分析

1. 調査対象者の属性

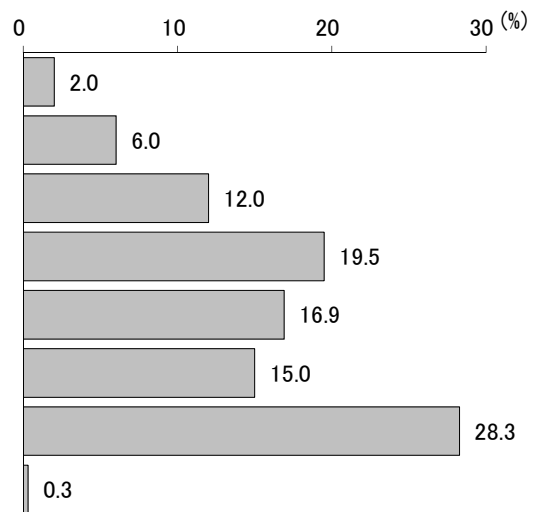
(1) 性別

	n	構成比
男	516	45.4%
女	617	54.3%
無回答	4	0.4%
全体	1,137	100.0%



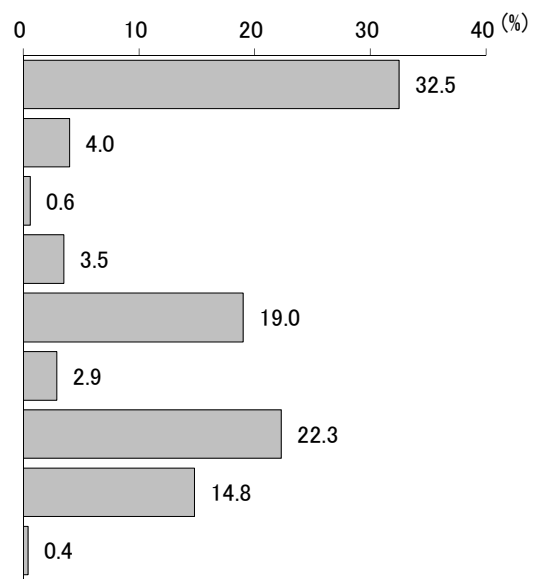
(2) 年齢

	n	構成比
18～19歳	23	2.0%
20～29歳	68	6.0%
30～39歳	137	12.0%
40～49歳	222	19.5%
50～59歳	192	16.9%
60～69歳	170	15.0%
70歳以上	322	28.3%
無回答	3	0.3%
全体	1,137	100.0%



(3) 職業

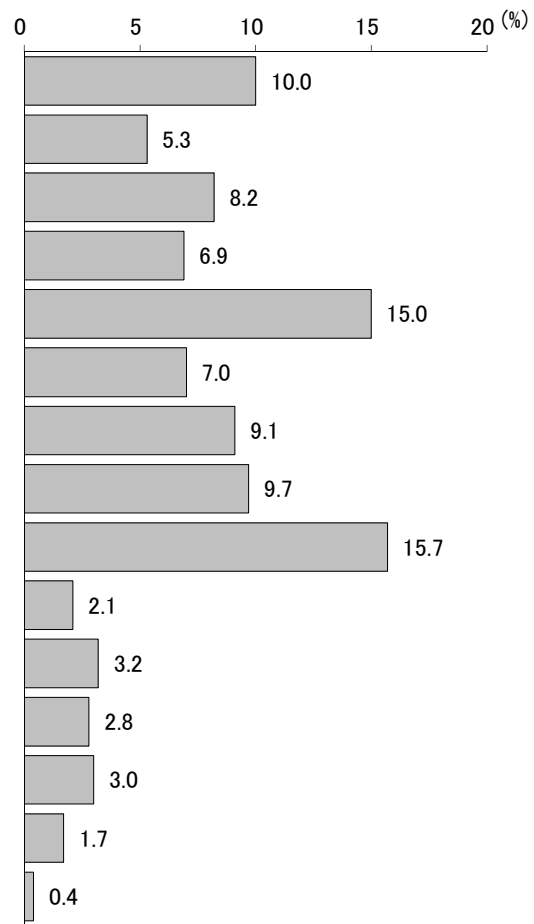
	n	構成比
会社員	370	32.5%
自営業	45	4.0%
農業	7	0.6%
公務員	40	3.5%
専業主婦または主夫	216	19.0%
学生	33	2.9%
無職	253	22.3%
その他	168	14.8%
無回答	5	0.4%
全体	1,137	100.0%



第2章 調査結果の分析

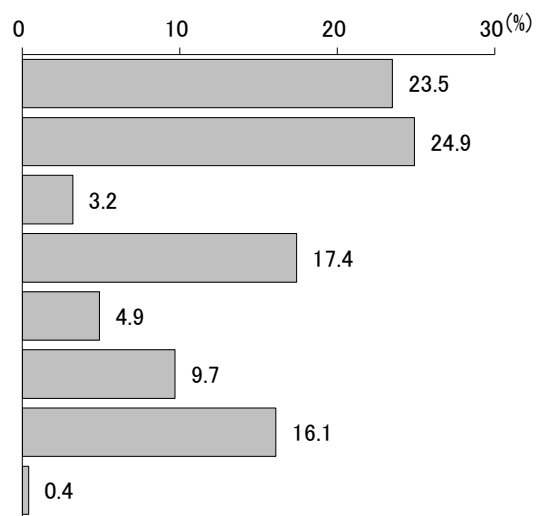
(4) 居住地区

	n	構成比
大和田地区	114	10.0%
ゆりのき台地区	60	5.3%
大和田新田(A)地区	93	8.2%
大和田新田(B)地区	79	6.9%
高津・緑が丘地区	170	15.0%
八千代台東南地区	80	7.0%
八千代台西北地区	103	9.1%
勝田台地区	110	9.7%
村上地区	179	15.7%
阿蘇地区	24	2.1%
陸地区	36	3.2%
米本団地地区	32	2.8%
高津団地地区	34	3.0%
村上団地地区	19	1.7%
無回答	4	0.4%
全体	1,137	100.0%



【(再掲) 7地域】

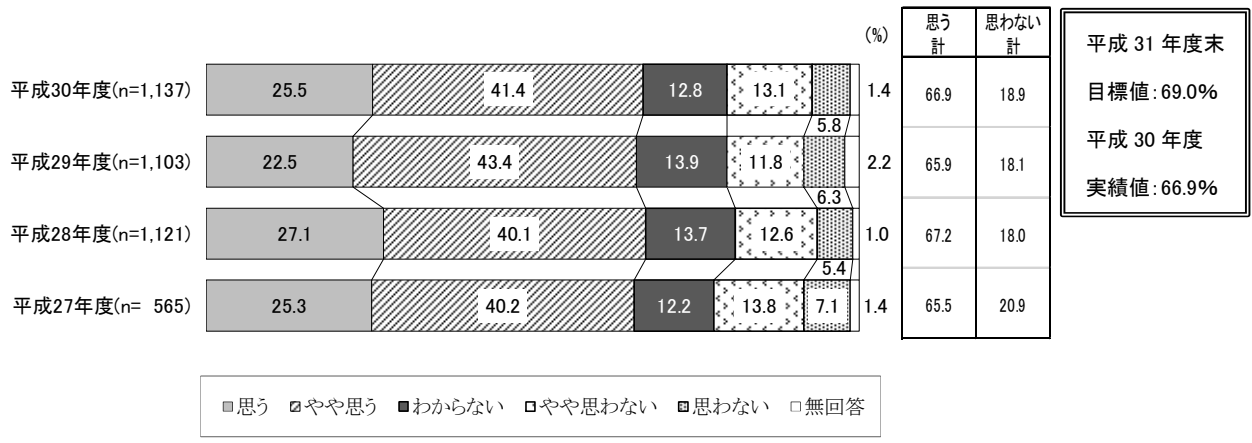
	n	構成比
大和田地域	267	23.5%
高津・緑が丘地域	283	24.9%
陸地域	36	3.2%
村上地域	198	17.4%
阿蘇地域	56	4.9%
勝田台地域	110	9.7%
八千代台地域	183	16.1%
無回答	4	0.4%
全体	1,137	100.0%



2. 八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査結果

(1) 「八千代市のイメージ」について

問5 本市は、都心から30 km圏に位置し、東京のベッドタウンとして発展してきました。また、新川を中心に広大な田園が広がるなど、豊かな自然も残されています。あなたは本市のイメージは良いと思いますか？



本市のイメージが良いと思うかについては、「やや思う」(41.4%)が4割で最も多く、「思う」(25.5%)を合わせた<思う 計>は66.9%となっています。

平成29年度と比較してみると、<思う 計>は平成29年度より1.0ポイント増加しています。

平成31年度末までの目標値69.0%に対して、平成30年度の実績値は66.9%であり、今回調査の達成率は97.0%となっています。

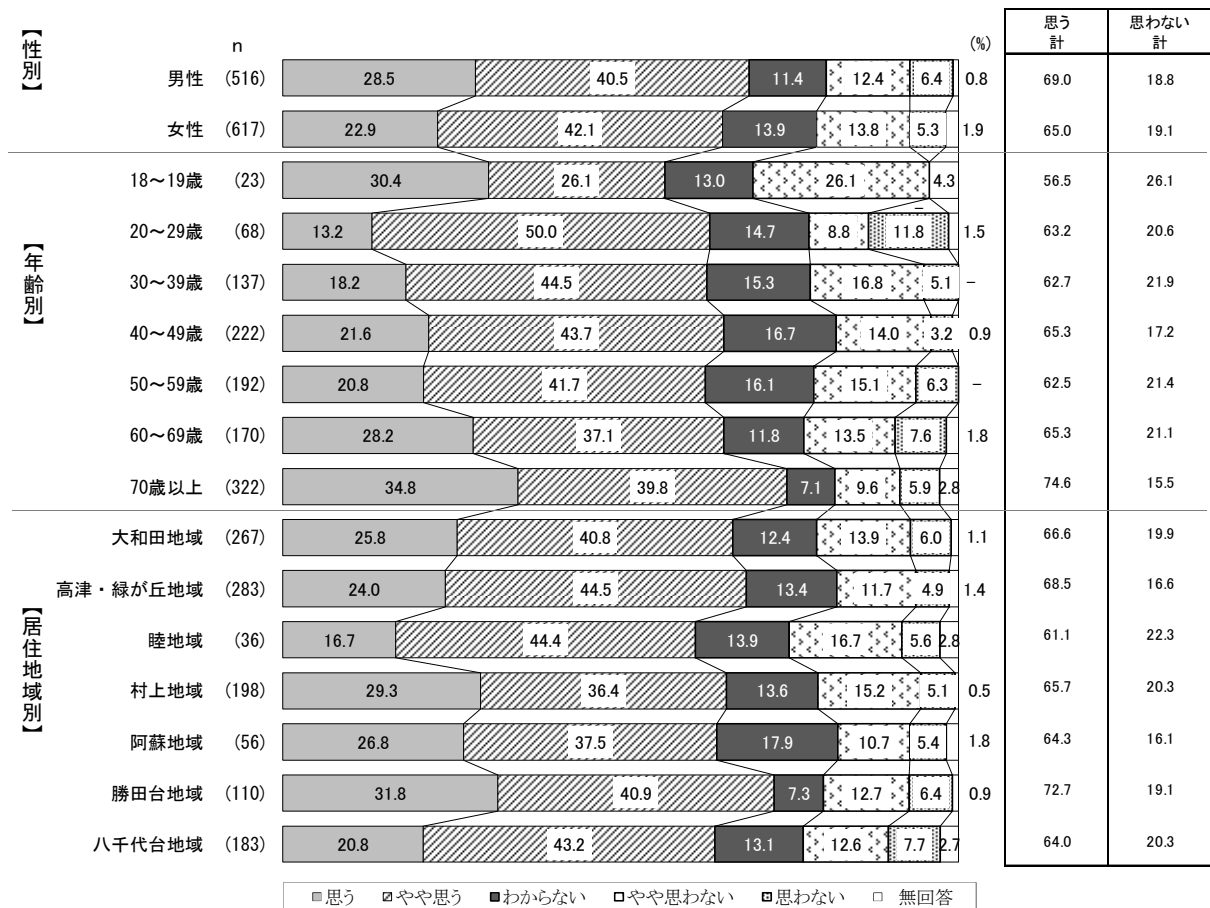
第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈思う 計〉の割合は男性（69.0%）が女性（65.0%）を4.0ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は70歳以上で7割を超えて多くなっています。

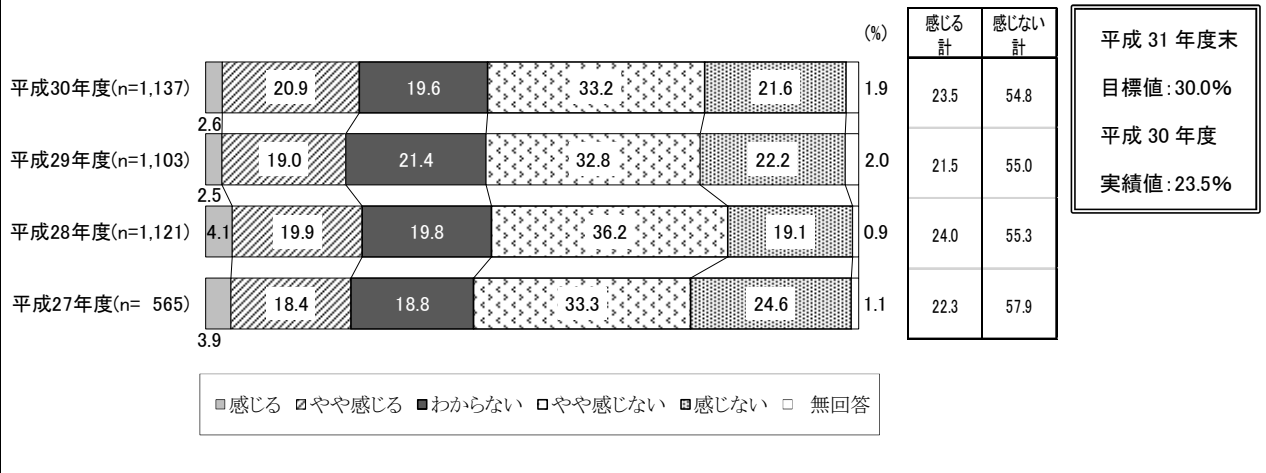
居住地域別にみると、〈思う 計〉の割合は勝田台地域で72.7%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(2)「八千代市の活性化」について

問6 まちの活性化のためには、「地域コミュニティの活性化」、「地域の産業の活性化」、「地域の観光の活性化」などが必要ですが、本市は現在、まちが活性化していると感じますか？



まちが活性化していると感じるかについては、「やや感じない」(33.2%)と「感じない」(21.6%)を合わせた「感じない 計」が54.8%と半数を超えています。

平成29年度と比較してみると、「感じない 計」は平成29年度とほぼ変化はありません。

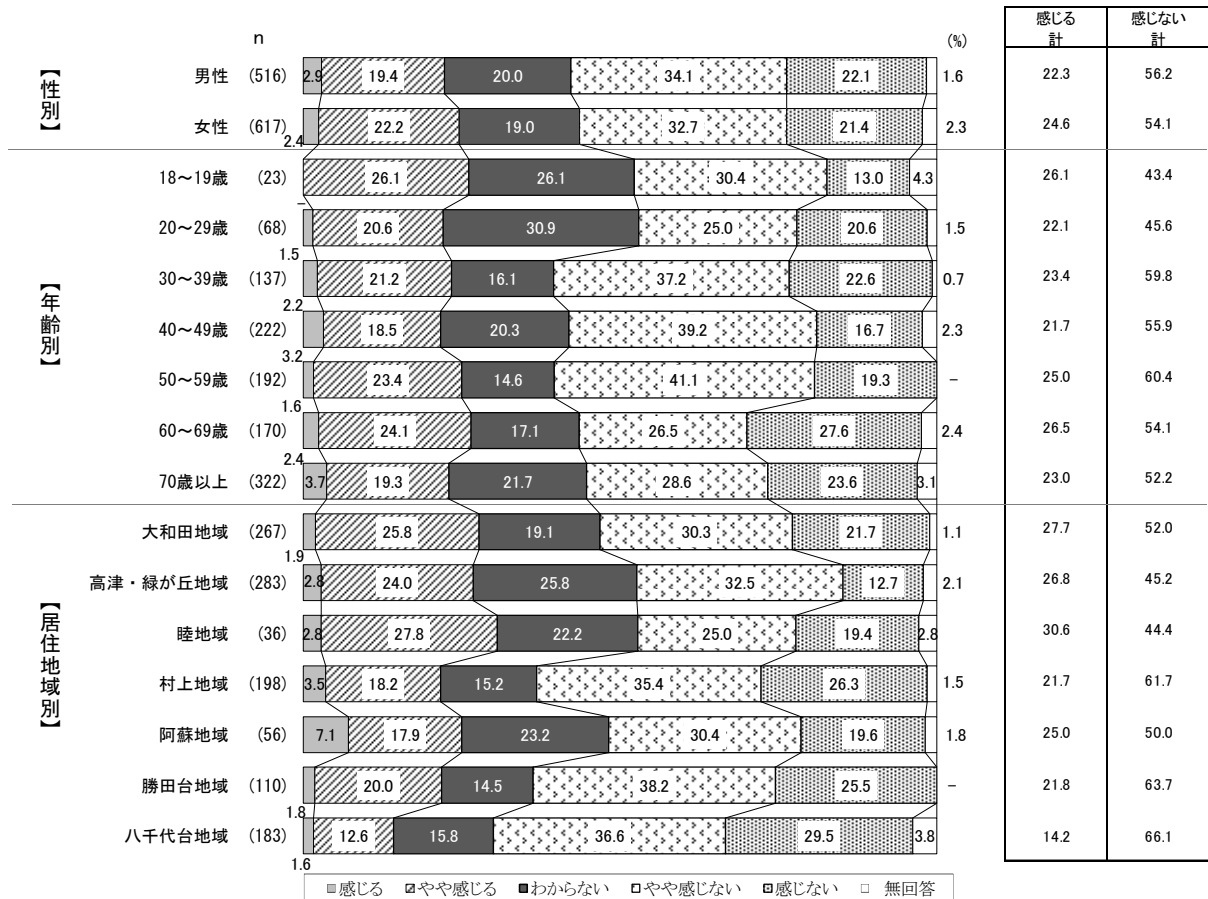
平成31年度末までの目標値30.0%に対して、平成30年度の実績値は23.5%であり、今回調査の達成率は78.3%となっています。

第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈感じる 計〉の割合は女性（24.6%）が男性（22.3%）を2.3ポイント上回っています。
 年齢別にみると、〈感じる 計〉の割合は60～69歳で26.5%と最も多くなっています。

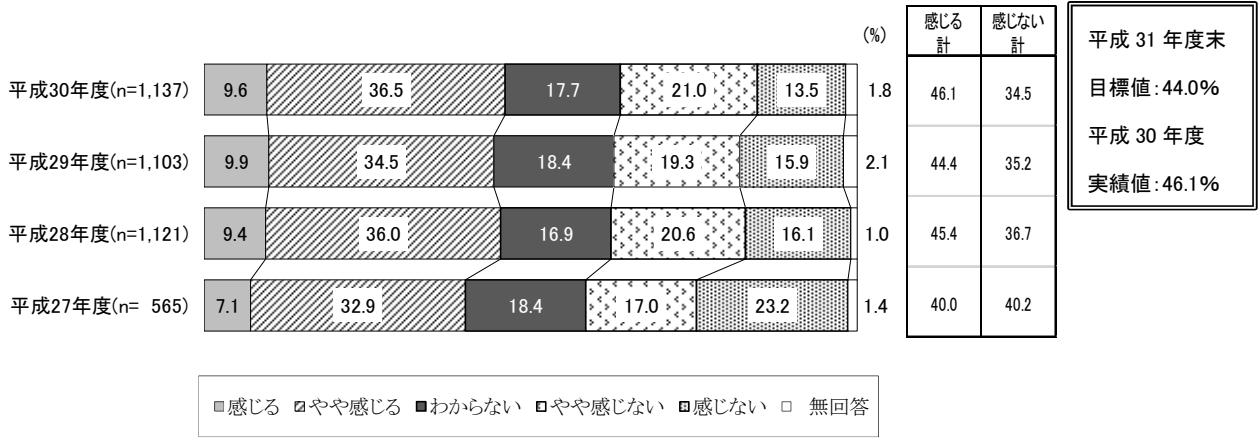
居住地域別にみると、〈感じない 計〉の割合は高津・緑が丘地域と睦地域を除く全ての地域で半数を超えており、八千代台地域では66.1%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(3) 「新川周辺の活性化」について

問7 市のシンボリック存在の新川の周辺には、やちよふれあいの農業の郷、中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなどがあり、また、夏には八千代ふるさと親子祭が開催されるなど、イベントにも活用されています。あなたは新川周辺が活性化していると感じますか？



新川周辺が活性化していると感じるかについては、「感じる」(9.6%)と「やや感じる」(36.5%)を合わせた<感じる 計>(46.1%)が「やや感じない」(21.0%)と「感じない」(13.5%)を合わせた<感じない 計>(34.5%)を11.6ポイント上回っています。

平成29年度と比較してみると、<感じる 計>は平成29年度より1.7ポイント増加しています。

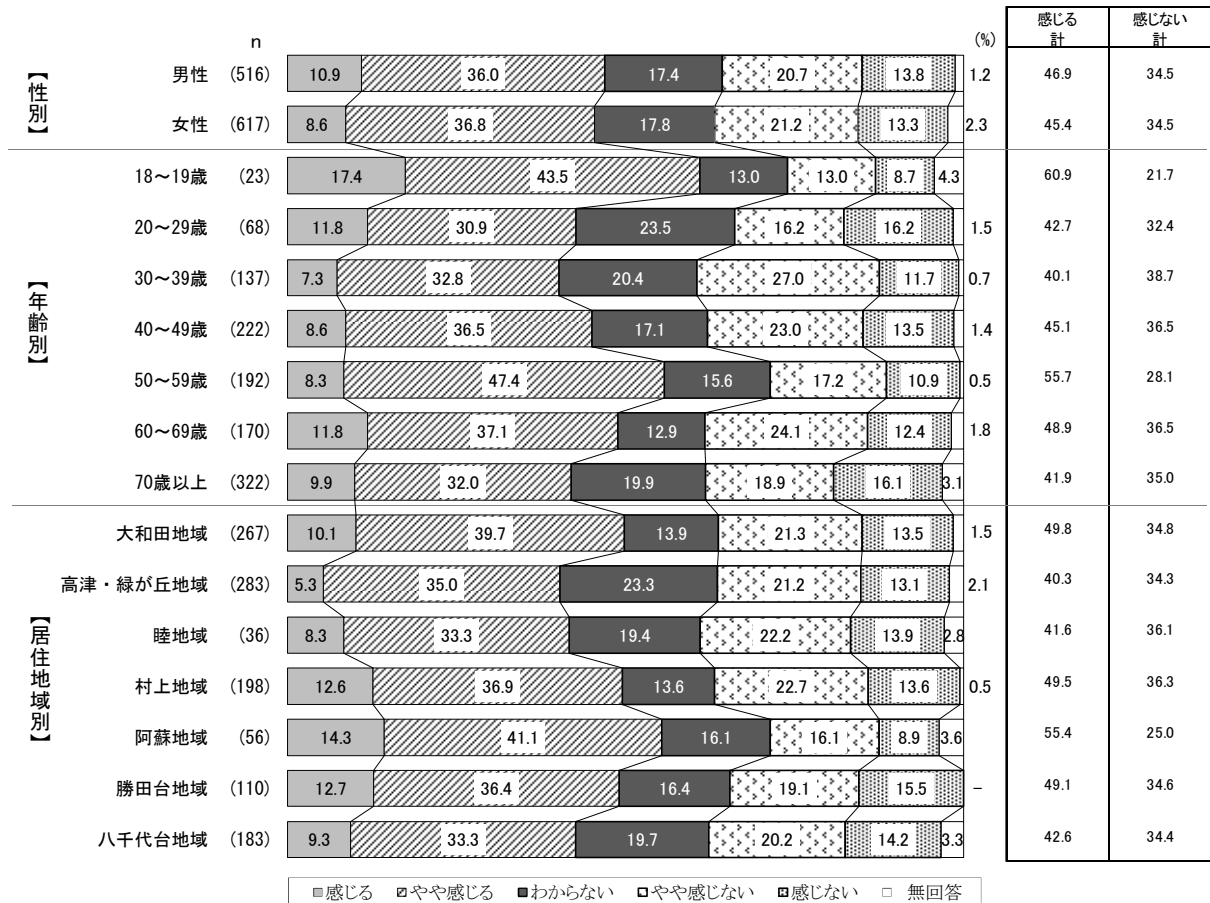
平成31年度末までの目標値44.0%に対して、平成30年度の実績値は46.1%であり、今回調査の達成率は104.8%となっています。

第2章 調査結果の分析

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は男性（46.9%）が女性（45.4%）を1.5ポイント上回っています。

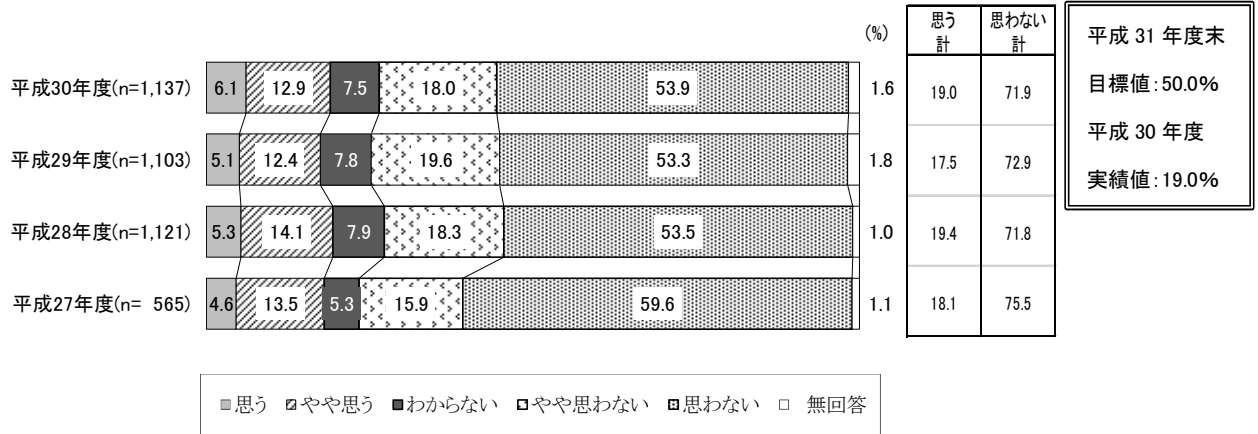
年齢別にみると、＜感じる 計＞の割合は18～19歳と50～59歳で半数を超え多くなっています。居住地域別にみると、＜感じる 計＞の割合は阿蘇地域で半数を超え最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(4)「地域活動」について

問8 地域には、自治会などの活動をはじめ、老人クラブや地域ボランティアなどの様々な活動がありますが、あなたは積極的に地域活動に参加していると思いますか？



積極的に地域活動に参加していると思うかについては、「思わない」(53.9%)が5割台半ばで最も多く、「やや思わない」(18.0%)を合わせた<思わない 計>は71.9%となっています。

平成29年度と比較してみると、<思わない 計>は平成29年度より1.0ポイント減少しています。

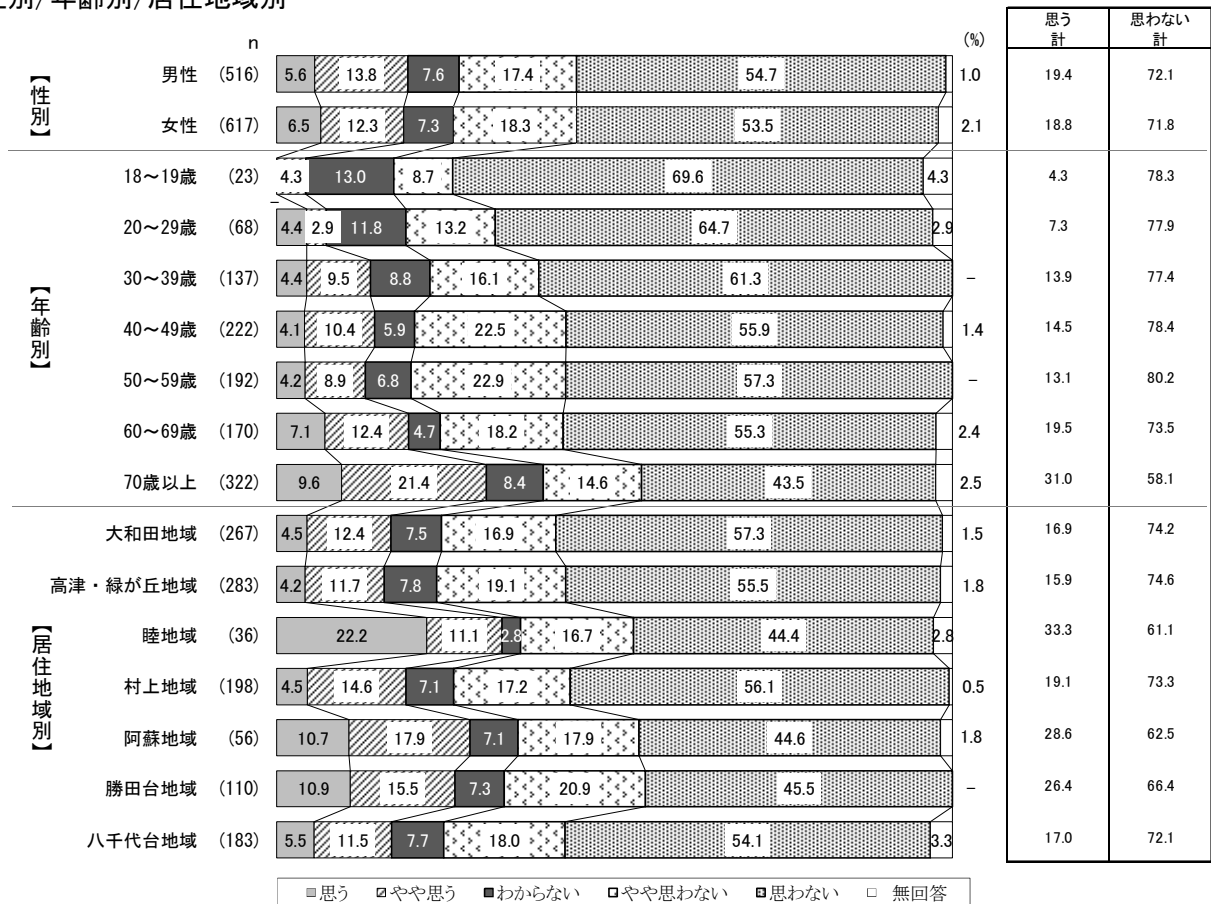
平成31年度末までの目標値50.0%に対して、平成30年度の実績値は19.0%であり、今回調査の達成率は38.0%となっています。

第2章 調査結果の分析

性別では大きな差はみられません。

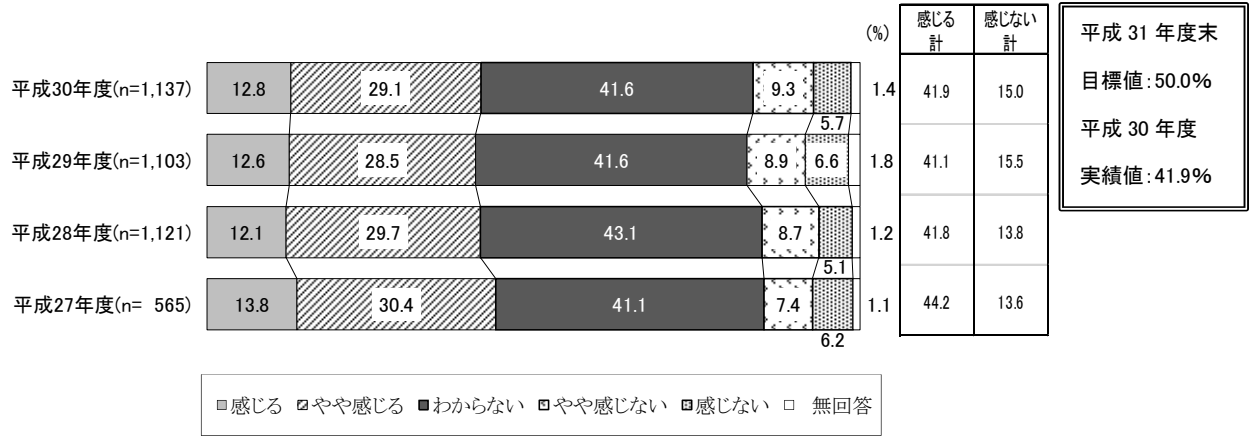
年住地域別にみると、〈思わない 計〉の割合は全ての地域で6割から7割台を超えて多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(5) 「地域消防・救急体制」について

問9 市では、消防拠点の整備や車両の増強、救急・救助体制の強化や医療機関との連携強化に努めているところですが、あなたは本市の地域消防・救急体制が整っていると感じますか？



本市の地域消防・救急体制が整っていると感じるかについては、「感じる」(12.8%)と「やや感じる」(29.1%)を合わせた<感じる 計>が41.9%となっています。一方、「わからない」も41.6%と多くなっています。

平成29年度と比較してみると、<感じる 計>は平成29年度とほぼ変化はありません。

平成31年度末までの目標値50.0%に対して、平成30年度の実績値は41.9%であり、今回調査の達成率は83.8%となっています。

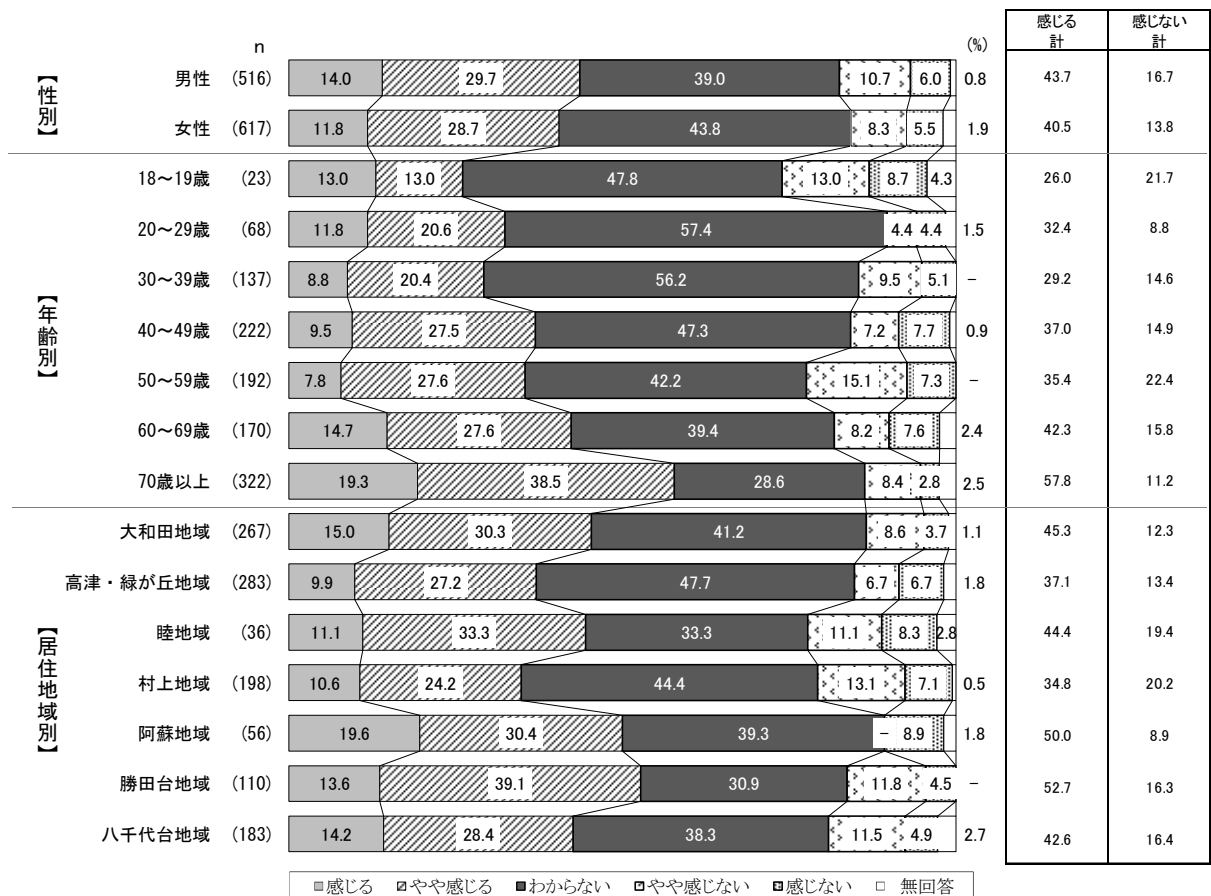
第2章 調査結果の分析

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は男性（16.7%）が女性（13.8%）を2.9ポイント上回っています。

年齢別にみると、＜感じる 計＞の割合は、おおむね年齢が上がるにつれて増加する傾向にあり、70歳以上では57.8%となっています。

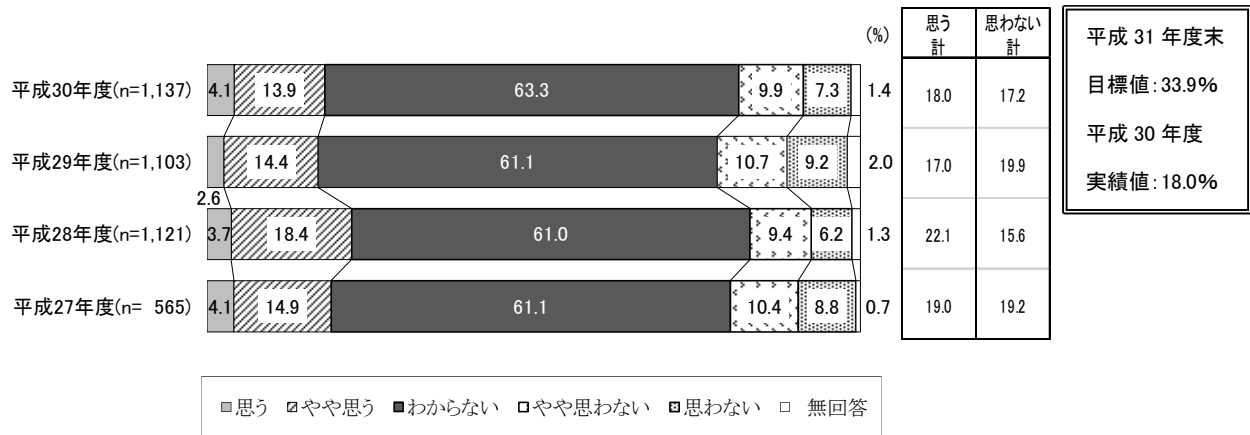
居住地域別にみると、＜感じる 計＞の割合は勝田台地域と阿蘇地域で半数を超え多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(6) 「災害に備えた対策」について

問10 市では、災害に備えて情報伝達手段の多様化や、食料などの必要物資の備蓄などに努めているところですが、本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思いますか？



本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思うかについては、「思う」(4.1%)と「やや思う」(13.9%)を合わせた<思う 計>が18.0%、「やや思わない」(9.9%)と「思わない」(7.3%)を合わせた<思わない 計>が17.2%となっています。一方、「わからない」が63.3%と最も多くなっています。

平成29年度と比較してみると、<思う 計>は平成29年度より1.0ポイント増加しています。

平成31年度末までの目標値33.9%に対して、平成30年度の実績値は18.0%であり、今回調査の達成率は53.1%となっています。

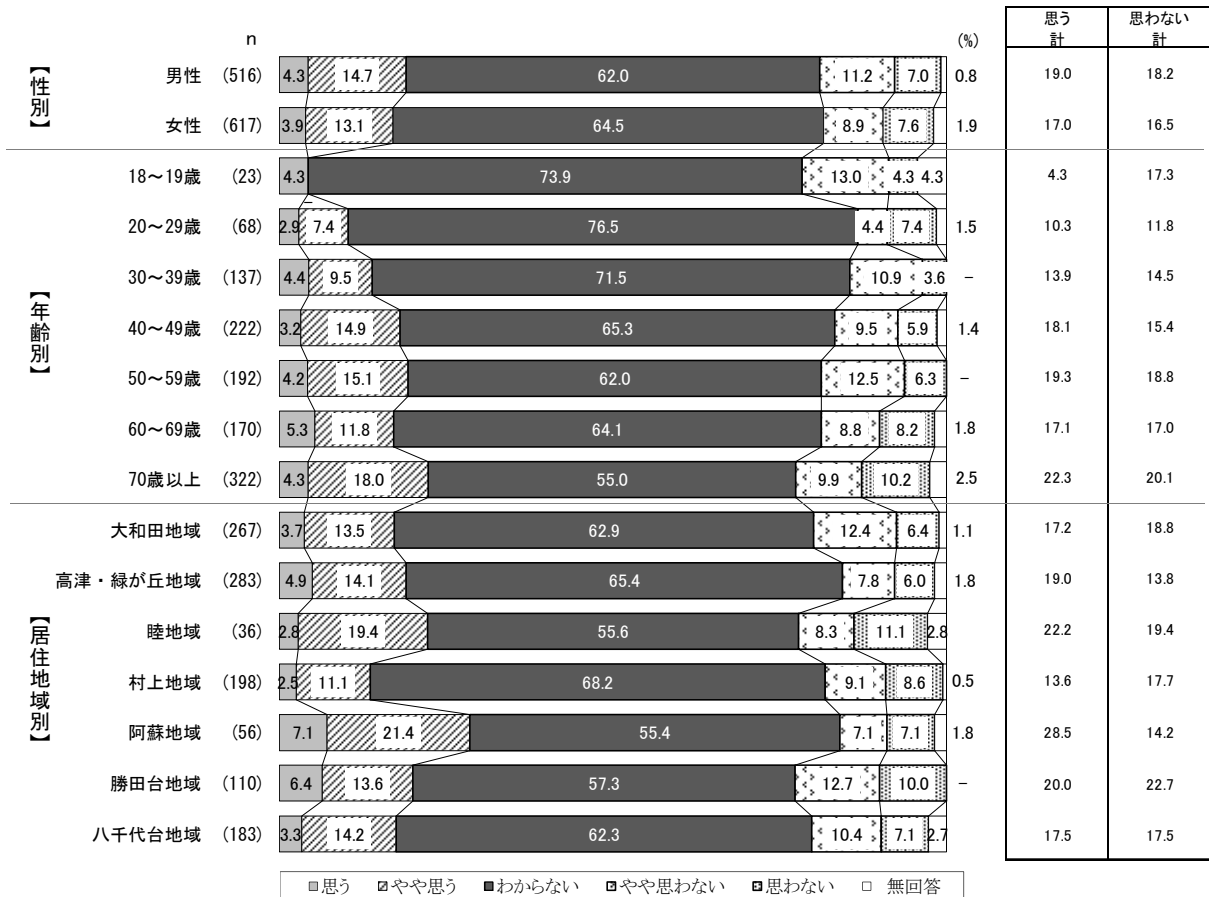
第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈思う 計〉の割合は男性（19.0％）が女性（17.0％）を2.0ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は70歳以上で22.3％と最も多くなっています。

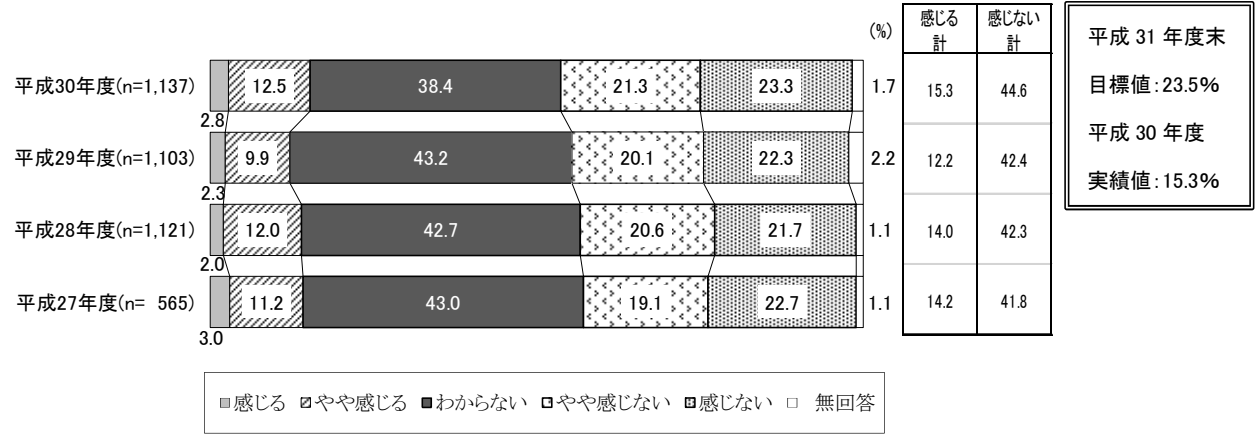
居住地域別にみると、〈思う 計〉の割合は阿蘇地域で約3割と多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(7)「公共交通不便地域における高齢者の移動」について

問11 市では、公共交通の利用が困難な地域に居住し、外出が困難な高齢者のため、タクシーの利用料金の一部を助成し高齢者の外出を支援していますが、本市は公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境だと感じますか？



本市は交通弱者にやさしい交通環境だと感じるかについては、「やや感じない」(21.3%)と「感じない」(23.3%)を合わせた<感じない 計>が44.6%となっています。一方、「わからない」も38.4%と多くなっています。

平成29年度と比較してみると、<感じない 計>は平成29年度より2.2ポイント増加しています。

平成31年度末までの目標値23.5%に対して、平成30年度の実績は15.3%であり、今回調査の達成率は65.1%となっています。

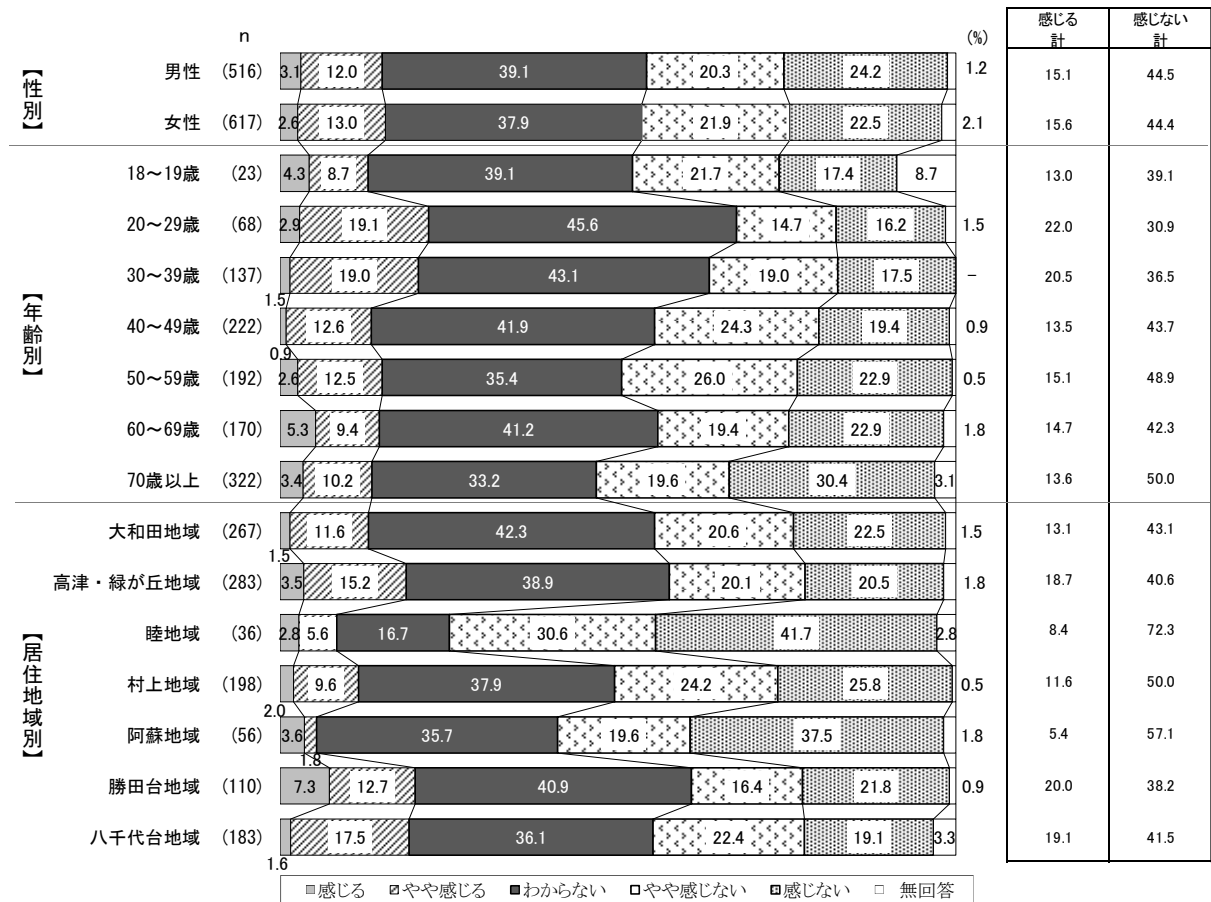
第2章 調査結果の分析

性別では大きな差はみられません。

年齢別にみると、＜感じない 計＞の割合は70歳以上で半数と最も多くなっています。

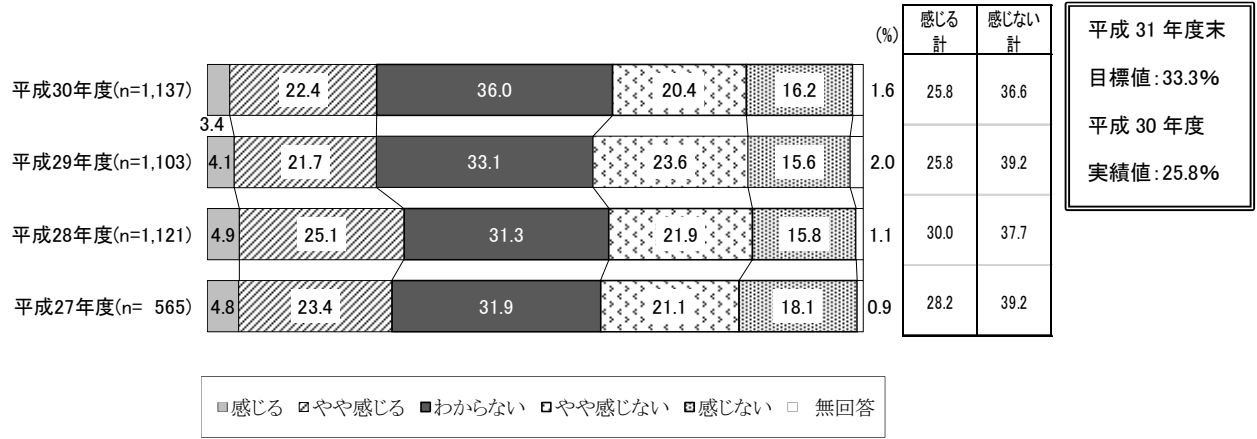
居住地域別にみると、＜感じない 計＞の割合は睦地域で72.3%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(8) 「防災・生活情報の得やすさ」について

問12 市では、防災・生活情報の伝達強化や、多言語による防災・生活情報の配信に取り組んでいますが、あなたは防災・生活情報が得やすいと感じますか？



生活・防災情報が得やすいと感じるかについては、「やや感じない」(20.4%)と「感じない」(16.2%)を合わせた<感じない 計>が36.6%、「感じる」(3.4%)と「やや感じる」(22.4%)を合わせた<感じる 計>が25.8%となっています。一方、「わからない」は36.0%となっています。

平成29年度と比較してみると、<感じない 計>は平成29年度より2.6ポイント減少しています。

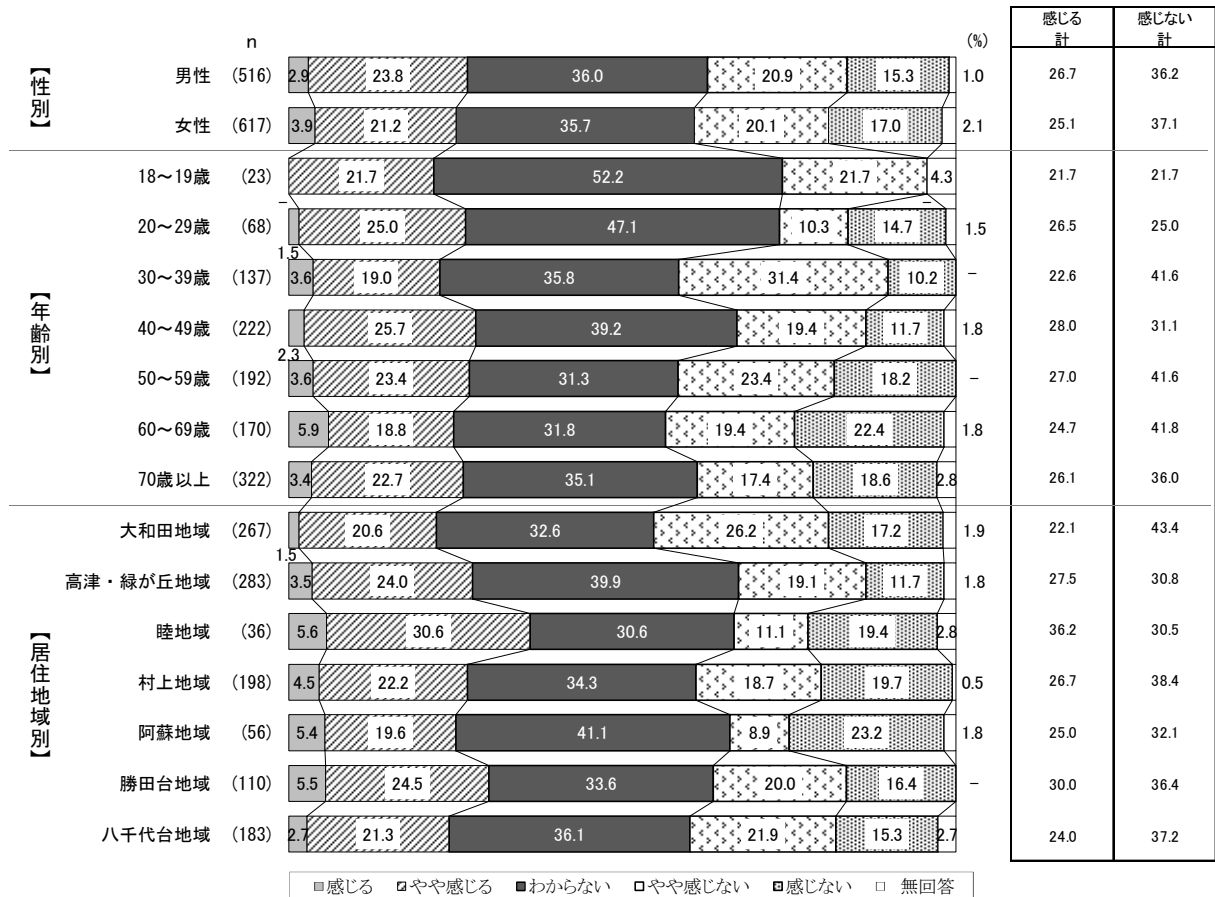
平成31年度末までの目標値33.3%に対して、平成30年度の実績値は25.8%であり、今回調査の達成率は77.5%となっています。

第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈感じる 計〉の割合は男性（26.7%）が女性（25.1%）を1.6ポイント上回っています。

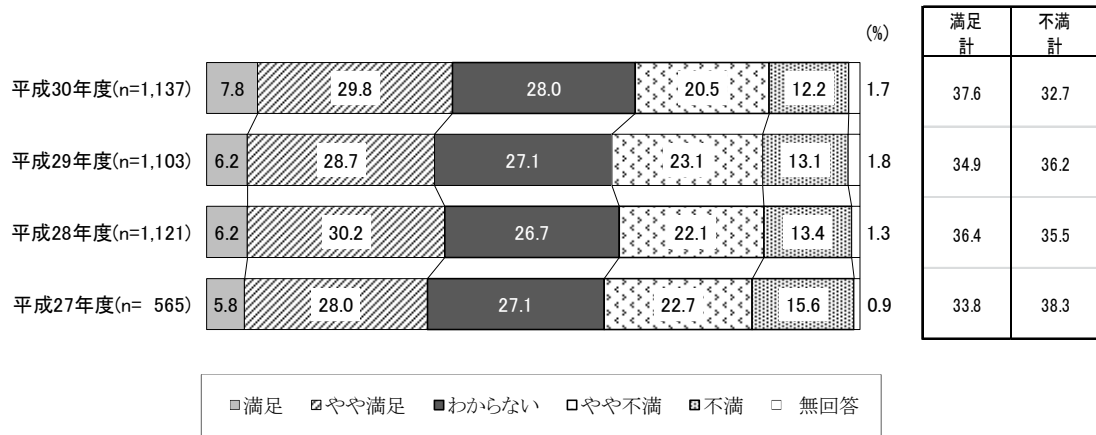
年齢別にみると、〈感じない 計〉の割合は30～39歳と50～69歳で4割台と多くなっています。居住地別にみると、〈感じない 計〉の割合は大和田地域で4割を超えています。

■性別/年齢別/居住地別



(9) 公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度について

問13 市内には、市民会館・図書館をはじめ多くの公共施設がありますが、あなたは公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足していますか？



公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足しているかについては、「満足」(7.8%)と「やや満足」(29.8%)を合わせた<満足 計>が37.6%、「やや不満」(20.5%)と「不満」(12.2%)を合わせた<不満 計>が32.7%となっています。

平成29年度と比較してみると、<満足 計>は平成29年度より2.7ポイント増加しています。

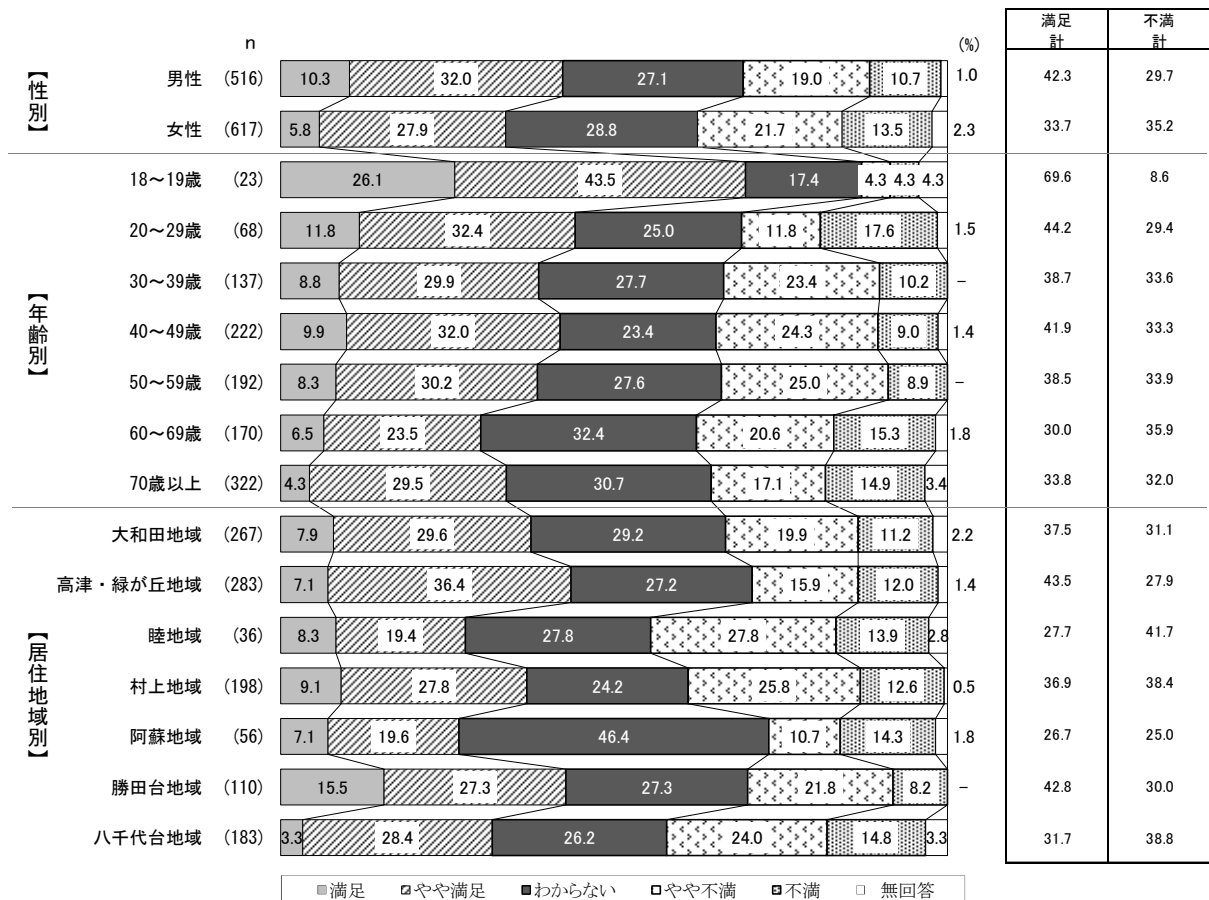
第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈満足 計〉の割合は男性（42.3%）が女性（33.7%）を8.6ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈満足 計〉の割合は18～19歳で69.6%と最も多くなっています。一方、〈不満 計〉の割合は30歳以上で3割台となっています。

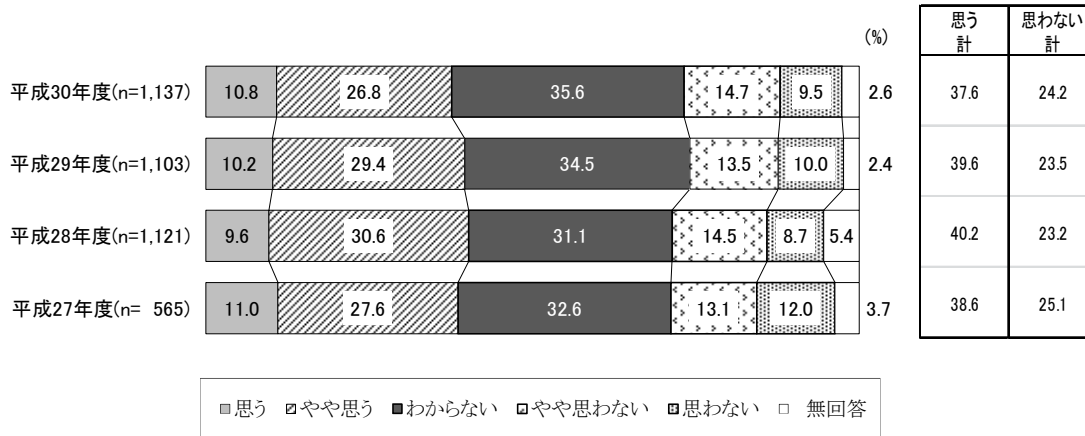
居住地域別にみると、〈不満 計〉の割合は睦地域で41.7%と最も多く、〈満足 計〉の割合を大きく上回っています。

■性別/年齢別/居住地域別



(10) 「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

問14 平成28年3月に策定した「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、問5から問13までの設問に関連する事業が含まれています。本市の将来の人口減少抑制を目標としていますが、あなたはこの総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思いますか？



総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思うかについては、「思う」(10.8%)と「やや思う」(26.8%)を合わせた<思う 計>が37.6%、「やや思わない」(14.7%)と「思わない」(9.5%)を合わせた<思わない 計>が24.2%となっています。一方、「わからない」は35.6%となっています。

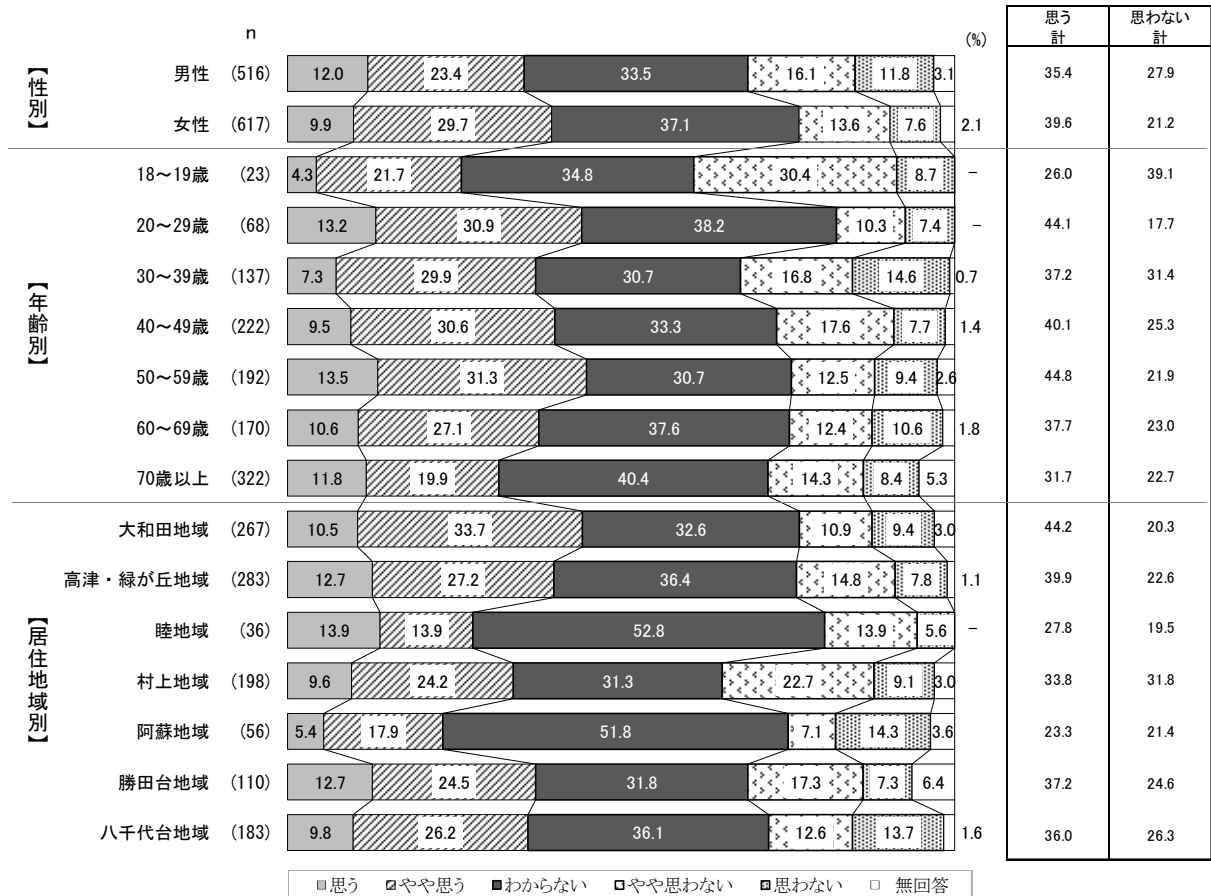
平成29年度と比較してみると、<思う 計>は平成29年度より2.0ポイント減少しています。

第2章 調査結果の分析

性別にみると、〈思わない 計〉の割合は男性（27.9%）が女性（21.2%）を6.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は20～29歳と40～59歳で4割台とやや多くなっています。居住地別にみると、〈思う 計〉の割合は大和田地域で44.2%と最も多くなっています。

■性別/年齢別/居住地別

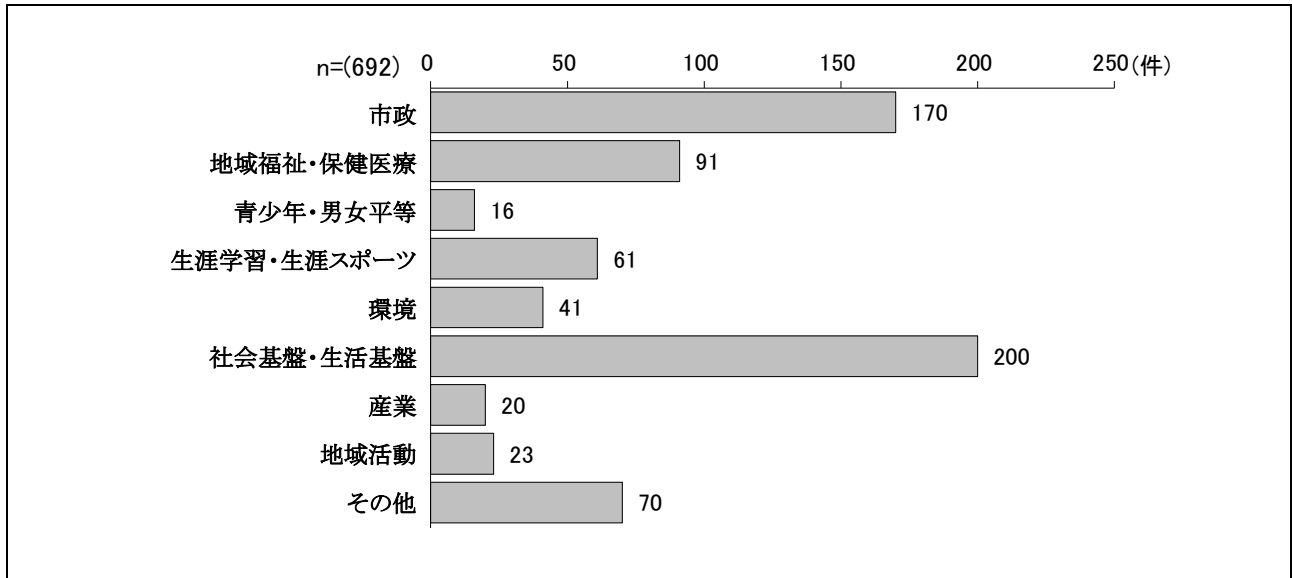


(11) 八千代市へのご意見・ご要望

問15 今後のまちづくりについて、市へのご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

八千代市へのご意見・ご要望については、692名の方から内容をいただきました。

下記は主な内容と件数になります。



第3章 調査票

八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査

市民の皆様には、日頃より市政に対しましてご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。

このたび、将来の人口減少対策として平成27年度から31年度までの市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を示す「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重要業績評価指標の達成状況（満足度）を把握するための調査を実施することといたしました。

調査票は、市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を抽出して送付しております。抽出は、年齢、性別、地域それぞれの人口割合に近い値で行っています。

お答えいただきました調査結果は市ホームページ等で公表しますが、設問は市に対する印象等に関するものが主であり、個人の特定につながるものではありません。

ご回答のために貴重なお時間をいただくことになり、まことに恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、「八千代市人口ビジョン」及び「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容につきましては、別添の概要版及び八千代市のホームページをご覧ください。

平成31年1月

八千代市長 服部友則

- 1 この調査は、できるだけ宛名の方ご本人がご記入ください。
- 2 この調査は無記名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
- 3 各設問の該当する選択肢の番号に○を付けてください。
- 4 調査の結果は、市のホームページなどで公表いたします。
- 5 ご記入いただきました調査票は、

平成31年2月5日（火曜日）までに、

 同封した返信用封筒（切手不要）に入れて投函してください。
- 6 調査の内容等について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

（問合せ先） ■八千代市 総務企画部 総合企画課 企画政策班

〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田 312-5

電話 (047) 483 -1151 内線 2332・2333

あなたご自身のことについておたずねします。

【問1】あなたの性別は、次のどちらですか？

1	男	2	女
---	---	---	---

【問2】あなたの年齢は、次のうちどれですか？

1	18 ～ 19 歳	5	50 ～ 59 歳
2	20 ～ 29 歳	6	60 ～ 69 歳
3	30 ～ 39 歳	7	70 歳以上
4	40 ～ 49 歳		

【問3】あなたの職業は、次のうちどれですか？

1	会社員	5	専業主婦または主夫
2	自営業	6	学生
3	農業	7	無職
4	公務員	8	その他 ()

【問4】あなたのお住まいは、次のうちどこですか？

	地区	該当町丁目・街区
1	大和田地区	大和田・萱田・萱田町
2	ゆりのき台地区	ゆりのき台1丁目～8丁目
3	大和田新田(A)地区	大和田新田下区等, 萱田中学校又は大和田中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区
4	大和田新田(B)地区	大和田新田上区, 高津中学校, 東高津中学校又は睦中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区
5	高津・緑が丘地区	高津・高津東1丁目～4丁目・緑が丘1丁目～5丁目 緑が丘西1丁目～8丁目
6	八千代台東南地区	八千代台東1丁目～6丁目・南1丁目～3丁目
7	八千代台西北地区	八千代台西1丁目～10丁目・北1丁目～17丁目
8	勝田台地区	勝田台1丁目～7丁目・勝田・勝田台南1丁目～3丁目
9	村上地区	村上・村上南1丁目～5丁目・下市場1丁目～2丁目・ 上高野・勝田台北1丁目～3丁目
10	阿蘇地区	米本・神野・保品・下高野・堀の内
11	睦地区	桑納・麦丸・桑橋・吉橋・島田・神久保・小池・真木野・ 佐山・平戸・島田台・尾崎・大学町1丁目～6丁目
12	米本団地地区	米本団地1街区～5街区
13	高津団地地区	高津団地1街区～7街区
14	村上団地地区	村上団地1街区～3街区

八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

八千代市では、将来の人口減少対策として今後市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を掲げる「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年3月に策定しました。

次の設問から、「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連する設問となります。

【問5】「八千代市のイメージ」についてお尋ねします。

本市は、都心から30 km圏に位置し、東京のベッドタウンとして発展してきました。また、新川を中心に広大な田園が広がるなど、豊かな自然も残されています。あなたは本市のイメージは良いと思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 わからない	4 やや思わない	5 思わない
------	--------	---------	----------	--------

【問6】「八千代市の活性化」についてお尋ねします。

まちの活性化のためには、「地域コミュニティの活性化」、「地域の産業の活性化」、「地域の観光の活性化」などが必要ですが、本市は現在、まちが活性化していると感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問7】「新川周辺の活性化」についてお尋ねします。

市のシンボリック存在の新川の周辺には、やちよふれあい農業の郷、中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなどがあり、また、夏には八千代ふるさと親子祭が開催されるなど、イベントにも活用されています。あなたは新川周辺が活性化していると感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問8】「地域活動」についてお尋ねします。

地域には、自治会などの活動をはじめ、老人クラブや地域ボランティアなどの様々な活動がありますが、あなたは積極的に地域活動に参加していると思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 わからない	4 やや思わない	5 思わない
------	--------	---------	----------	--------

【問 9】「地域消防・救急体制」についてお尋ねします。

市では、消防拠点の整備や車両の増強、救急・救助体制の強化や医療機関との連携強化に努めているところですが、あなたは本市の地域消防・救急体制が整っていると感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問 10】「災害に備えた対策」についてお尋ねします。

市では、災害に備えて情報伝達手段の多様化や、食料などの必要物資の備蓄などに努めているところですが、本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 わからない	4 やや思わない	5 思わない
------	--------	---------	----------	--------

【問 11】「公共交通不便地域における高齢者の移動」についてお尋ねします。

市では、公共交通の利用が困難な地域に居住し、外出が困難な高齢者のため、タクシーの利用料金の一部を助成し高齢者の外出を支援していますが、本市は公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境だと感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問 12】「防災・生活情報の得やすさ」についてお尋ねします。

市では、防災・生活情報の伝達強化や、多言語による防災・生活情報の配信に取り組んでいます。あなたは防災・生活情報が得やすいと感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問 13】公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度についてお尋ねします。

市内には、市民会館・図書館をはじめ多くの公共施設がありますが、あなたは公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足していますか？

1 満足	2 やや満足	3 わからない	4 やや不満	5 不満
------	--------	---------	--------	------

【問14】「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてお尋ねします。

平成28年3月に策定した「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、問5から問13までの設問に関連する事業が含まれています。本市の将来の人口減少抑制を目標としていますが、あなたはこの総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 わからない	4 やや思わない	5 思わない
------	--------	---------	----------	--------

【問15】今後のまちづくりについて、市へのご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

ご記入いただいた調査票は、そのまま同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

2月5日（火）までに郵便ポストへ投函してください。

【問合せ先】

八千代市 総務企画部 総合企画課 企画政策班

電話 047-483-1151 内線 2332・2333



やっち